

上大津小学校基本設計

第1回地域ワークショップ

「地域の魅力を見つけよう」
～まちを歩いて、グループで模造紙に描こう～

1

第1回地域ワークショップ

開催日時 7月28日（日） 8：00- 11：00

開催場所 上大津東小学校周辺2ルート
図工室

参加者 児童保護者及び地域住民13名、
五中生1名、湖北高校生徒24名
引率教諭1名、計39名

2

第1回地域ワークショップ

まち歩きルート図



3

第1回地域ワークショップ

ワークショップ発表での主な意見

- ・椅子のある休憩所がほしい
- ・体育館にエアコンがほしい
- ・災害時に必要な自動販売機が欲しい
- ・小学校付近に水遊び場が欲しい
- ・街灯が少ない
- ・速度が速い車があるので横断歩道を作ってほしい
- ・敷地周りに緑が多いのはきれいだが、違う色も欲しい。
黄色がきれいだったのでヒマワリなどがいい
- ・まち歩き中に小鳥のさえずりが聞こえた。学校の中でも
季節ごとの小鳥のさえずりが聞けたらいい

4

ワークショップ成果から設計への反映

- ・ 学校周囲に歩道を整備し、児童や地域住民の安全を確保
- ・ 地域住民もいつでも気軽に学校周囲を散策できるよう、街灯やベンチ、ポケットパークを設置
- ・ 外回りは、シンボルツリーや低木、花壇等を適切に配置し、彩りや自然を感じる環境を整備

上大津小学校基本設計 第2回地域ワークショップ

「地域の庭を考えよう」

第2回地域ワークショップ

開催日時 9月29日（日） 9：30- 12：00

開催場所 上大津東小学校図工室

参加者 児童保護者及び地域住民 8 名、
五中生 1 名、湖北高校生徒 13 名
引率教諭 1 名、計 23 名

7

成果発表



成果物

8

ワークショップテーマの絞り込み

以下の3テーマに対して各グループから意見をいただいた。

- 地域の魅力を学校にどう入れられるだろうか？
- こんな場所があったらこんなことができる
- どんな場所があれば地域の庭と学校が繋がるだろう

第2回地域ワークショップ

ワークショップ発表での主な意見

- ・ 日常的に使えるダンスの練習場、カフェ、受験勉強スペースといった小中高生の交流が図れる場所がほしい
- ・ 日中家にいる幼児と親と一緒に過ごせる場所がほしい
- ・ 地域の人でも使える図書館の分館がほしい
- ・ 地域リサイクル拠点（いらないものを回収、交換、再利用）
- ・ キッチンカースペース等休日の利用を想定した設え
- ・ こども食堂 ※例えばこども農園でとれた野菜を食べる
- ・ 学校の思い出となる桜の木 ※配置は要検討

ワークショップ成果から設計への反映

地域の庭のつくりかた

- ・ 地域からの景観に寄与するとともに、特別教室と連動して自然観察のできるビオトープを検討する
- ・ 地域と児童の距離を近くする際、視線やセキュリティに配慮した植栽帯、フェンスを設置する
- ・ かまどベンチやマンホールトイレ、キッチンカースペースなど災害時には防災広場として使える広場の設えとする
- ・ 地域開放ゾーンの利用方法については、現在の使われ方に捉われず、日中家にいる幼児を持つ家庭や中高生の居場所にもなる空間をめざし、今後のワークショップで具体的な活用方法の意見を求め、それに応じたハード整備を行う¹¹。

上大津小学校基本設計 第3回地域ワークショップ

「新しい学校をめざして」
～模型に添景を置きながら活動をイメージしよう～

第3回地域ワークショップ

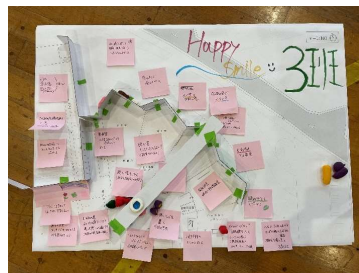
開催日時 11月17日（日） 13：00- 16：00

開催場所 上大津東小学校 体育館

参加者 児童保護者及び地域住民 11名、
五中生 1名、湖北高校生徒 11名
引率教諭 1名、計 24名

13

第3回地域ワークショップ



14

ワークショップ発表での主な意見

- ・家庭科室で休日に料理教室をしたい
- ・フロアは絨毯にし、スリッパなしでも活動できるように
- ・リビングのようにくつろげる場にしたい
- ・収納式のいす、壁側を向いたコンセント付の机がほしい
- ・みんなの広場にキッチンスペースが欲しい
- ・外壁はガラス張りでグリーンカーテンを作りたい
- ・みんなの広場はバリアフリーにしてほしい
- ・体育館への行き来をできるようにしてほしい
- ・映画が上映できるスクリーンがほしい
- ・上下足の履き替えをどうするか検討する必要がある

ワークショップ成果から設計への反映

- ・家庭科室、かみとおつラウンジを活用して料理教室等
が可能な建物計画
- ・特別教室の外壁面は、ガラス（開口部）とし、グリーン
カーテンの設置も可能
- ・みんなの広場には、学校・地域行事で利用できるスクリー
ンを設置

上大津小学校基本設計

第4回地域ワークショップ

「学校の運営を考えよう」
～地域利用スペースの使い方を考えよう～

17

第4回地域ワークショップ

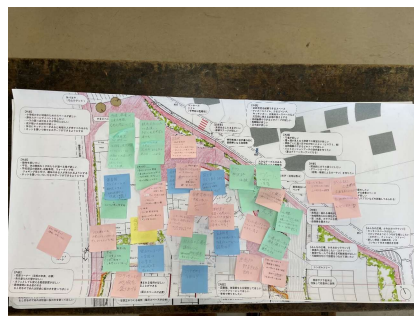
開催日時 12月8日（日） 9：30- 12：00

開催場所 上大津東小学校 図工室

参加者 児童保護者及び地域住民10名、
湖北高校生徒15名、引率教諭1名
計26名

18

第4回地域ワークショップ



19

第4回地域ワークショップ

ワークショップ発表での地域からの主な意見 1

- ・ 学校周辺の住民だけではなく、学区全体の地域協力が必要
- ・ 予約システム等の導入による可能な限りの省人化
- ・ 草刈りや花壇の維持管理を日頃から地域で行う
- ・ 土浦出身文化人による講座
- ・ 企業とコラボした農業体験
- ・ 教育の場（授業の一環）として、中高生のカフェ運営・物販
- ・ 運営委員の募集 五中PTAが現在希望者で運営しているような運営方式
- ・ 工事途中の見学会を行い、運営希望者を募る場の設定

20

ワークショップ発表での地域からの主な意見2

- ・五中では地域住民有志による「若草応援団」があり、学校への協力、参加者同士の交流、地域と学校との交流を目的として活動を行っている
- ・交通の便の整備 路線バスの整備、土日のスクールバスの活用
- ・イベントができる施設であることの周知
- ・イベントの開催 上大津地区が一堂に会したまつりをつくる
- ・参加者 農家さん、育成会、地域企業、環境センター、etc . . .

ワークショップ発表での高校生からの主な意見

- ・学校の中にカフェとして使える勉強室が欲しい
- ・地域産業による協力、産業の活用による魅力づくりや資金確保が必要
- ・老人ホームと協力して交流会を開く
- ・児童の作品を観覧しながらの散策
- ・高校生による（中学生・小学生）への屋内運動場で行う球技（フットサル等）の指導。（指導者の高校生、参加者への軽食等の提供）

上大津小学校基本設計

第5回地域ワークショップ

「まとめ」
～みんなで考えたものを振り返ろう～

23

第5回地域ワークショップ

開催日時 1月12日（日） 9：30- 11：00

開催場所 上大津東小学校 図工室

参加者 児童保護者及び地域住民10名、
五中生1名、湖北高校生徒11名
引率教諭1名、小学生1名
計24名

24

ワークショップでの質疑応答 1

- ・ 上大津小学校ができた際に現在ある地域組織を継続し、支援を行いたいため、1年ほど前から上大津東小学校の代表と菅谷小学校の代表が話し合える機会を設けてほしい。(おやじの会など)
- ・ 将来的に校歴コーナーの拡張・更新はどのように行うのか。
 - 余白を大きく取り将来の展示を見越した計画とする。
- ・ 既存西側校舎を新設のデザインと合わせるのか。
 - 西側校舎はプレハブ構造のため校舎と完全に一致したデザインはできないが、統一感のあるデザインとする。
- ・ 建物の耐用年数は何年を見込んでいるか。
 - 外壁や屋根が劣化するため、それを踏まえ今後の修繕計画をコストと合わせ検討する。

25

ワークショップでの質疑応答 2

- ・ 蓮や動物をモチーフにした遊具を設置してはどうか。
- ・ 運営委員会は開校の何年前から立ち上げるのか
 - 地域の庭の管理や室内の地域開放エリアの使用方法、運営方法等に関して、地域住民と協議して決めていく必要がある。
- ・ 地域開放ゾーンは授業中も開放するのか。
 - 授業の時間はかみおおつラウンジまでの開放を考えている。家庭科室との境界は、ブラインドやカーテンで視線を遮る方法もある。
- ・ 地域の庭は物理的に開けており、子供が外に抜け出す可能性がある。屋外でのセキュリティを考える必要がある。

26

ワークショップでの質疑応答 3

- ・ 地域住民の利便性の確保と子供たちの校外研修等を踏まえたスクールバスの契約をしてほしい。
- ・ 災害時に対してどのように計画しているか。
- 防災井戸、かまどベンチ、マンホールトイレ、太陽光設備の設置を検討している。
- ・ 室内の音響設備に関しても設置して欲しい。
- ・ 児童・教職員ワークショップで出た意見を共有してほしい。
- ワークショップで出た内容やまとめたものを地域に周知してほしい。
- 基本設計の報告と合わせて6月を目途にホームページに掲載する。

27

上大津小学校基本設計 第1回教職員ワークショップ

授業の方法と学びの場を考えよう！

- ・ 子供たちのクラスルームと教室廻りのスペースを活かした学習方法
- ・ ICT設備の活用と必要な学習環境について

28

第1回教職員ワークショップ

開催日時 8月6日(水) 9:30-11:30

開催場所 上大津東小学校 音楽室

参加者 菅谷小学校教職員9名
上大津東小学校教職員22名
計31名

第1回教職員ワークショップ

発表成果



ワークショップ発表での主な意見

(学年コモンズ)

- ・図工作品を置くスペースがほしい
- ・ロッカーは風通しの良い場所がよく密集していない方が望ましい
- ・児童用トイレは2つの学年が使うようになっているため個室ブースの数を多くしてほしい
- ・児童用トイレを交流の場とする考え方には良し悪しがある
- ・教室で作業・学習を行い、オープンスペースで交流する等、活動によって場所を使い分けできる

コモンズとは？

共同で所有し管理する場所を指す。
転じて、本事業では、使用方法や
目的別にグループ分けした空間を、
〇〇コモンズと呼ぶ。

ワークショップ発表での主な意見

(特別支援コモンズ)

- ・特別支援教室をもっと広くしてほしい
- ・特別支援教室の数を増やしてほしい
- ・特別支援教室は、各階にもう少し数がほしい
- ・支援教室が他の教室に近い、独立していないため近くの音が気になるのではないかと、各教室の行き来はどう考えているのか？

ワークショップ発表での主な意見

(STEAMコモンズ)

- ・音楽室は防音が必須である。
- ・家庭科室と理科室は薬品を使うこともあるので離れた方が良い
- ・多目的室を音が出る教科での授業に使用したい

STEAMとは？

科学 (Science)

技術 (Technology)

工学 (Engineering)

芸術 (Art)

数学 (Mathematics)

の頭文字を取った教育法。

従来の教科単位の学習から脱却し各分野を横断した統合的学習を行うことで課題解決能力や創造性を育むことを意図している。

ワークショップ発表での主な意見

(体育館、駐車場、その他)

- ・児童の通行出入りと車を分ける経路、保護者の送迎車は入口と出口を一方通行で通過するようにしてほしい
- ・体育館にクーラーがほしい
- ・放送室は校庭（トラック）が見える位置にほしい

ワークショップ成果から設計への反映

学年コモンズのつくりかた

- ・ 教室の学習スペースに対する収納は多いに越したことはないが、その設置場所や大きさはさらに検証が必要
- ・ 休み時間に集中する利用人数を考慮した便器数と手洗い数を用意する
- ・ 教室とオープンスペースの間仕切は可動とし、教室を拡張して使用することに関して、概ねの賛同が得られた

ワークショップ成果から設計への反映

特別支援コモンズのつくりかた

- ・ R10～12年度の推計では、支援学級通級児童は20名程度であり、4クラス程度を確保する必要がある。
- ・ 音や光に敏感な児童のカームダウンスペース等、児童の特性に応じた対応が可能となるよう多様な空間を用意する。

ワークショップ成果から設計への反映

STEAMコモンズのつくりかた

- ・音楽室の防音対策、理科室の薬品保管の安全対策等、各室の授業特性に応じた仕様とする。
- ・オープンスペースの利用方法については、各教科授業の垣根を超えた新しいスタイルの授業にも対応可能な空間をめざし、今後のワークショップで具体的な活用方法の意見を求め、それに応じたハード整備を行う。
※地域交流スペースとしての整備も併せて検討していく。

ワークショップ成果から設計への反映

体育館、駐車場のつくりかた

- ・駐車場は、保護者送迎車両の滞留抑制策を取り、通学バス同様、転回スペースと乗降スペースを確保する。
- ・体育館への空調設置要望が多い。文科省も気温上昇時の適切な温湿度管理や避難所としての機能確保の観点から空調設置の必要性をアピールしている。
引き続き、設置方法やコスト、効果等を検証をしていく。

上大津小学校基本設計

第2回教職員ワークショップ

どんな職員室で働きたいか考えてみよう！

- 4つの場について考えよう

①個人作業の場

②共同作業の場

③リフレッシュの場

④子供たちとコミュニケーションを取る場

- ゾーニングをしよう

（具体的に教職員スペースのレイアウトを行う）

39

第2回教職員ワークショップ

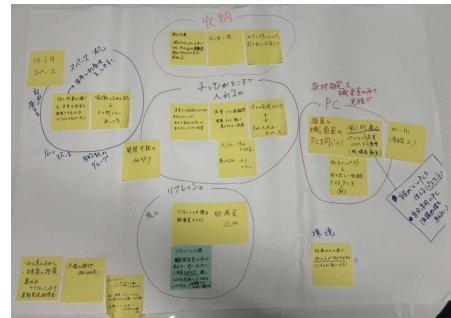
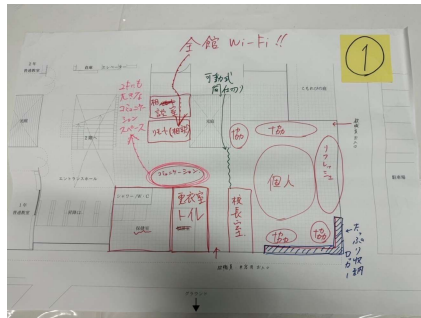
開催日時 8月21日（水） 9:30-11:30

開催場所 クラフトシビックホール土浦

参加者 菅谷小学校教職員 10名
上大津東小学校教職員 21名
計31名

40

発表成果



41

ワークショップ発表での主な意見

(個人作業の場)

- ・支援員、ボランティアの方達のスペースを確保する
- ・個々のデスクは無くしてほしい
- ・採点作業が多いため、机は広い方がよい
- ・個人ロッカーの中にテスト、プリント等情報管理ができるスペースがあるとよい

(共同作業の場)

- ・会議室は間仕切りができるようにしてほしい
- ・会議室を小さめにし、近くに印刷機を設けると保護者も使いやすい。
- ・印刷機、コピー機、裁断機、穴あけとじ込み、紙類の棚

42

ワークショップ発表での主な意見

(リフレッシュの場)

- ・子供が来るエリアと離したい
- ・職員談話室は外から見えない、さらにその中に小部屋を区切り、体調が悪い時に横になれる簡易ベッドがあるとよい
- ・リフレッシュの場は給湯室の隣に欲しい

(子供達とコミュニケーションを取る場)

- ・コミュニケーションスペースは必要なのか？
- ・コミュニケーションスペースは職員室とは離したい
- ・上履きを借りにくる子、お迎え待ちの子のためのスペースが少しある程度でよい
- ・子供のコミュニケーションを取るためのスペースは廊下の近くがよい

ワークショップ発表での主な意見

(その他)

- ・個人作業のための場、共同作業のための場に特化した環境、リフレッシュの場、子供達とコミュニケーションを取る場は必要ない
- ・バリアフリーに配慮し多目的トイレがほしい
- ・書庫、金庫のスペースが必要（5年、20年保管の書類がある）

ワークショップ成果から設計への反映

教職員コモンズのつくりかた

- ・PTAおよび外部教員の利用や特別支援との連携に配慮し、共同作業の場を充実させた職員室とする
- ・教職員外来用玄関は昇降口とは別に設け、保健室と隣接した不登校児童の学習スペースや相談室にも直接出入りができるように配慮する
- ・共同作業やリフレッシュのためのスペースを広く確保できるように、フリーアドレス制の執務スペースを検討をする

45

上大津小学校基本設計 第1回児童ワークショップ

「みんなが思う宝物や欲しいものを出し合おう」

46

第1回児童ワークショップ

開催日時 10月4日（金） 10：30- 12：05

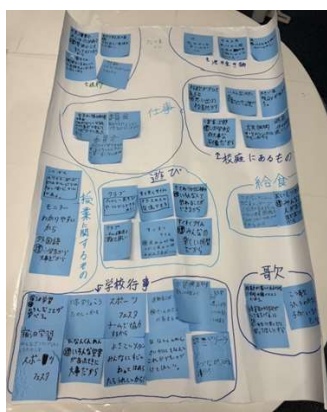
開催場所 上大津東小、菅谷小
各5、6年生教室
ICTを使用し、2校を中継

参加者 上大津東小 5、6年生
菅谷小 5、6年生

47

第1回児童ワークショップ

上東小成果物



菅谷小成果物

48

ワークショップテーマの絞り込み

各グループ毎にテーマを分けて意見を出してもらった

■学校でできたらいい、あったらいいなと思うこと

■新しく入る子たちに残したい学校の宝物

■学校の自慢できるところ

ワークショップ成果から第二回目の展望

- ・ 次回のワークショップテーマ「庭の設計」に向けたアイデア出しとして、児童から自由な意見を募り、新しい学校にほしいものや大切にしているもの、残してほしいものを話し合い発表してもらうことで、設計への反映のみならず、郷土愛や後輩へのおもいやりの心を醸成する教育的効果をねらった。
- ・ 第2回ワークショップでは今回出たアイデアを発展させ、具体的に上大津小の庭の絵や配置を考えてもらう。

上大津小学校基本設計

第2回児童ワークショップ

「あったらいいな、こんな庭」

51

第2回児童ワークショップ

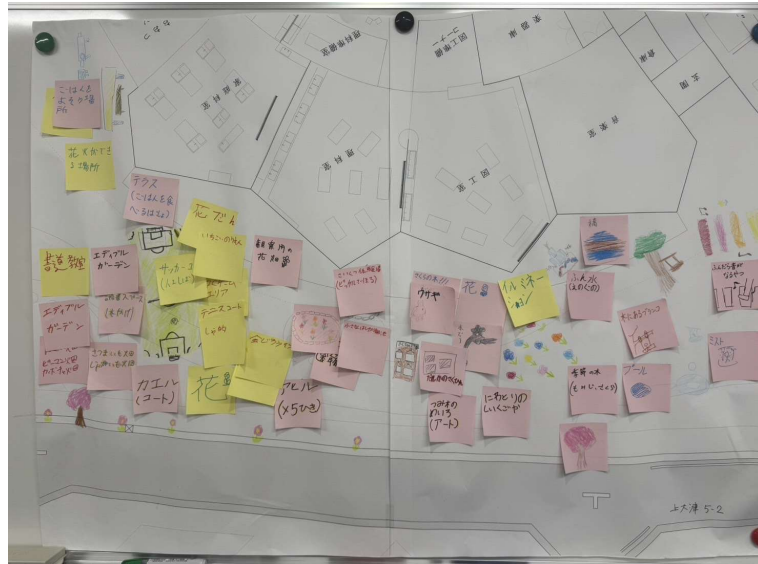
開催日時 11月20日（水） 10：30- 12：05

開催場所 上大津東小（体育館）
菅谷小（音楽室）
ICTを使用し、2校を中継

参加者 上大津東小 5、6年生
菅谷小 5、6年生

52

上東小　どんな庭が欲しいか描こう！



菅谷小　どんな庭が欲しいか描こう！



上東小成果物



菅谷小成果物



55

第2回児童ワークショップ

ワークショップ発表での主な意見

- ・ さつまいも畑が欲しい
- ・ 木陰で読書をしたい
- ・ 観察用の花畑が欲しい
- ・ 小さな橋と池が欲しい
- ・ テラスでご飯を食べたい
- ・ 花火ができる場所が欲しい
- ・ 踏むと音になる設えにしたい（メロディーシート）
- ・ 木と木の間に紐を張って絵を飾りたい
- ・ 座れる丸太が欲しい
- ・ 少し盛り上がった山が欲しい

56

ワークショップ成果から設計への反映

- ・ こもれびの庭には、観察用の畑を計画する。
- ・ 特別教室の外部には、室内と一体的に利用できるようなテラスを設ける。
- ・ 外部には、児童が自由な発想で遊べるような遊具（オブジェ）を設置

上大津小学校基本設計 先進校視察

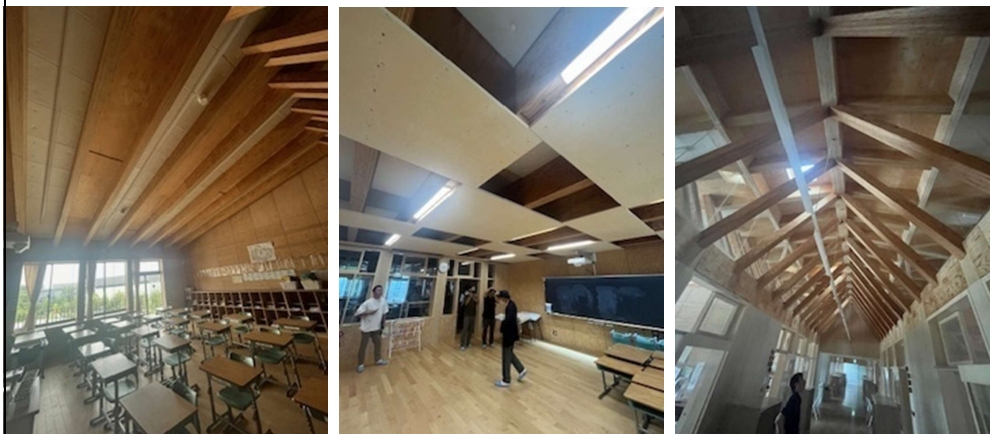
先進校視察

視察日 8月27日（火）午後

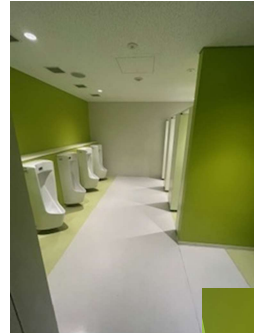
視察先 流山市立おおぐろの森小学校
流山市立おおたかの森小学校

参加者 児童保護者及び地域住民16名、
五中生1名、湖北高校生徒15名、
引率教諭1名、計33名

先進校視察 おおぐろの森小学校



先進校視察 おおぐろの森小学校



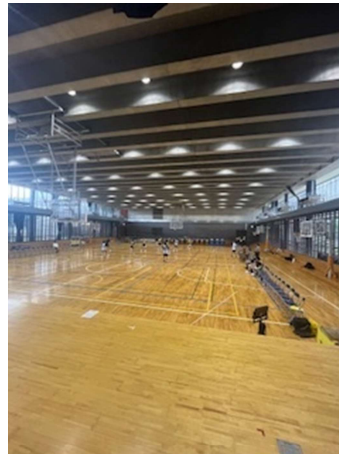
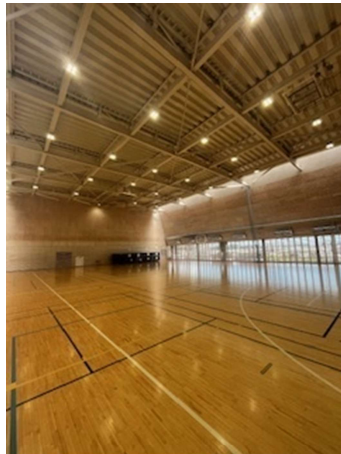
61

先進校視察 おおたかの森小学校



62

先進校視察 おおたかの森小学校

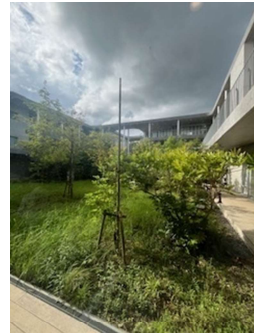


63

先進校視察 おおたかの森小学校



64



先進校視察から設計への反映

(おおぐろの森小学校)

- ・木材を利用した温もりある空間と、柔軟な木架構による大空間のデザインにより、落ち着いた教育環境の整備

(おおたかの森小中学校)

- ・学校敷地に整備した地域の方が利用できる歩道空間、教室とバルコニー空間が一体化した屋外学習スペースなど、周辺環境とつながる教育環境の整備
- ・近隣住民が利用できる内外空間を計画することで、日常的な地域と児童の交流を促し「みんなの学校」となることを目指す。